

水源禪師法話集122

～佛說大梵天王問佛決疑經(宋代)解説～

(2023年3月26日web法話2回目)

2023年6月12日

一乗禪の会



目次

水源禪師法話

月輪品第三①	3
月輪品第三②	12
月輪品第三③	17
法界品第四①	21
法界品第四②	28
法界品第四③	32
法界品第四④	35



水源禪師法話

月輪品第三 ①

爾時世尊。告迦葉言。摩訶迦葉。七佛所說。無有異路。諸佛成道。無有異法。唯以是一知見。明見自己一心形相性理。即成佛耳。若有他法令成佛者。即是天魔波旬邪法。迦葉當知。我座菩提樹下。降魔成等正覺。當於其時。盡見心形。盡見心理。我見心體。如月輪形。諸佛出現。即授印證。令我成佛。我者久遠無量劫中修行成故。現不成佛。雖未即。成佛身已。我今印證此人。即見己身成本佛。是知見佛。我今授記此人來世。是不久當成果滿佛。如今會中摩訶迦葉。雖已知見自法身了。未滿六度劫數成故。未得成佛妙覺法身。雖然如是。『知見自性佛法身體。十方諸佛。一體一躬知成佛故。得佛印證』。事於未來諸佛世尊當得成佛。天王譬如世間月輪。朔弦望晦月不現。雖是月輪。人不言月。朔月一分。以日近故諸人不見。雖俗不信。知者知月。如初發心見性道人。世俗不知。道人知之。三日夕天。現三分光。雖未成輪。世間知月。如見性人。能徹顯德。諸人知之。摩訶迦葉亦復如是。雖今日未實成阿耨多羅三藐三菩提。已受未來當成佛記別。名見性佛。云何道人心圓月輪。有十五分。

月輪というのは、月輪大師という湧泉寺の偉いお坊さんが、その昔、十六年間中国に行って、そこでニミッタを出して、日本に帰ってきた方で。詳しい話は聞いていませんけれども。

パオではヴィパッサナーをやる前のサマタ瞑想の時、ニミッタを出した後、ホワイトカシナというのがあります。その時に、何故ホワイトカシナというのか？というのは、結局、スケルトン瞑想。自分の白骨体の瞑想で。それが終わったら、詳しい事は言いません。もの凄く長くなるから。自分の頭の白骨をジーっと観た時に、月のような白い円が出てきます。その円が、サーっと大きく広がって、そこらの大地、地球を包むように宇宙まで広がっていきます。一番最初の、その時の事かなと。で、ホワイトカシナに入っていくわけなのです。

カシナ瞑想は十あって。それが終わった後は、今度はナーマルーパ、物質の無い瞑想に入って、第八禪定まで行きます。心の状態、仕組み、サンカーラの心の行列はまだ後だけど。その時の事かなと。月輪という名前が付いて。

お釈迦様はそれを例えて、「最後は十五夜のようになっていく」と。修行はそういうものだという説明です。そういう前置きをして、

『この時世尊は摩訶迦葉の言った事は、七佛の説く所での路の諸佛成の道で有り法門で、只知見だけに依って明快に自己の心形相性理（心の仕組み作り）が見え、』

結局、これは観自在菩薩行深の事なのです。これをやるにはニミッタを持って、第四定禪でこれを追跡して行きます。ヴィパッサナーで、第四定禪で心の中を観ていく時は、最初は15分でへとへとになります。その後、大体15分、サマタ。止禪ですね。止める禪でゆっくりしながら、力が出たら、また心の奥底を観ていきます。戦場で戦うのと全く一緒です。今ウクライナ戦争とか、そん

なものじゃなく、それ以上の戦いです。自己との闘い。本当に毎日が修羅場の中の戦いで進んで行きます。

大体、疲れ果ててそこで折れるみたいだけど。私の場合は、やっぱりカクサンダー。その昔、凄くお世話になって、その力を頂いてこの世で上手くいっているじゃないかな。ま、それは余談だね。そういう心の仕組みが観えますと。受想行識の事です。般若心経の受想行識。

『佛耳を持つ事に成ります。』

佛耳というのは、声聞と言いますね。アラハトに成る時に、この世の、アナガミ（不還果）から一來果、最後アラハトからこの世を去る時に、佛耳を持つ事になりますという非常に深い意味があります。

何故それが分かるか？と言え、自分の生死を観る時に、一体自分は何時そういう状態になるのか、未来を観ていきます。時空を。結局、心はタイムマシーンを持っているわけですね。過去も観えるし未来も観えるという。色身というか色体をこれから説明するけれども。

人間一人一人全ての衆生は、実は、神と例える以上の力を持っているわけです。これが毘盧遮那仏の本体で。毘盧遮那仏と皆さん、実は一体化しているけれど、深い深い眠りに入って、まだ寝ているわけです。ほとんど。

その正覚、正しく覚めるという事が、佛耳を持つ事になりますという事の説明です。これは体験でしか分からないから、ま、話として聞いて下さい。

『他法で成佛する教えは、天魔波旬の邪法である事を迦葉は良く熟知している。』

他化自在天、天界の一番上は悪魔なのです。ははは（笑）。六天。この世で全てが良い、その天国。欲界の第六天。そこで、天魔波旬は皆さんが仏の世界に入れないようにありとあらゆる方法で邪魔するわけです。だから、お釈迦様がブッダガヤの菩提樹の下でずっと座っていた時に、天魔波旬が三人の、この世の物とは思えない美しい三人の自分の娘を送り出して、いろいろ誘惑したけど、それに負けないと。で、ずっと座っていたと。

仏が出なければ、真髓の所が伝わらないわけです。お釈迦様の時代は寿命百年。カクサンダーブッダ（拘留孫仏）の時代は寿命十万年。結局、その時が最高のゴールデンエイジという事ですね。その時の事をよく摩訶迦葉（カシヤパ尊者）は知っていると。

『我が菩提樹下の座で魔を降して等正覺を成し遂げた時に、総ての心の形体と心理（行深の行はSankaraの事）と・・・』

実は、他の簡単な説明では、「私が座った時にいろんな姿の人間が出てきた。」と。「醜い人、素晴らしい体力を持った人、ずーっと、いろんな。実はこれは私の姿だった。」と。

実際の理論で、ヴィパッサナーで心の行列じゃなく、もっと深く体験上の事

を明解に観たわけですね。この事なのです。

『心体（精神と肉体）を見た時に、それが満月の形に成り、』

この時、全ての自分の因果が消滅したわけです。本来の般若心経に説明されている、是故空中無色無受想行識。この事なのです。是諸法空相不生不滅不垢不浄不増不減。結局、この月輪みたいに完全に月と一緒に became と。

『諸佛が出現して私が印證を受けて佛に成りました。』

この諸佛が全て出現したという事は、この綺麗に晴れて雲一つない夜空に星がいっぱい見えますね。日本ではほとんど無理だけど。私がある昔、チベットに行って、バス旅行をして、バスが道に迷って、野原、標高4000mの高原の野原で一晩泊まって。外を見た時に、本当に満天の星雲が二重三重にもなって見えるわけですよ。

その星一つ一つが仏。全ての仏が出て来たというのは、そういう事を言われているわけなのです。二十八仏全てじゃなく。黄河砂の如く仏が出て来たと。それは体験でしか分からない状況で。今例えて言ったように、オーストラリアでもいいですけど、雲一つない夜空、月明かりの無い時に満天の星になるわけですよ。そういう事を言われています。それから印證を受けて、仏になったと。

無量無数の仏からどうして証を受けるのか？と。これは人間の今の頭では分からない。何故かと言ったら、一中一切、一切一中という心の世にも不思議な仕組み。これが毘盧遮那仏の心で。毘盧遮那仏とあなた達皆様が一体化しているわけです。一つ一つではないのです。一つは無量、無量は一つになって、今それぞれの名前をもらって生きて。これは仮の世界なのです。また新しい身体をもらって、また新しい生命体に入るから。コロコロと替わって行くわけです。

だからこの南米では今みたいな話は到底理解出来ないし、お釈迦様のこの話も「何だ、これは？」となるくらい遠くかけ離れた世界だけど、皆さんはこれを理解しようとする、この地球上でも相当な段階に来ているわけです。この日本でも、こういう話を真剣に聴けるというのは、お坊さんの中にもあまりいないと私は思う。文献では良く分かるけども、これは実際に体験して初めて、大地を動いて、世界を周って、海を越えて、弘法大師が言われた「地陸の厚さを知りなさい」と。「大地の広大さを知りなさい」と。

私は海を飛び越えた船の旅行はあまりしたことがないから、分かららないけども、この地球の70%は水、海でありますから。私達はほとんど、竜宮の世界、その生命体、分からないわけなのです。

特に私達は頭がイカれてしまって、衆生の中で最高だということで、人殺しは沢山やるし、他の生命体は滅茶苦茶に殺すし、狂っているとしか思えないし。

サリーナの海の上にはイグアナさんが出て来て、美しい緑色で。今回サリーナに行った時に、ぽちーんと、とってもとっても美味しいマンゴー、高い木か

ら落ちたものを食べましたけれど。これはもう、幾らお金出しても買えない特別な味でした。口では言えないけれど、ちゃんとマンゴーを落として「食べてちょうだい」と。

それに、海の家で配管工事をして、庭が枯れないように自動的な散水システムにしたら、小鳥がどんどん遊びに来てくれて。花も活き活きとして、植物も「ありがとう」と。私達は喧嘩やヤキモチでどうにもならない所があるから、ここから上に行こう上に行こうと。翌檜（あすなろ）になろう、なろうとするチャンスがあるわけなのです。小鳥とか猫ちゃん見たら、全部そう。でも心は優しいですよ。「まあ、これでいい」ということで。

まあ、非常に爬虫類を皆さん、貶すけれど、ヤモリの小さいのを、じーっと観たら、とても進化した生命体だなあと。というのは心ですね、心。



グリーンイグアナとヤモリ

『私が久遠無量劫で修行をしても佛に成れなかったのは、佛になる身では無かった。』

これは一体どういうことか？と。結局、この私達のDNAは只出来ているわけではないのです。この宇宙の秘密を全部持っている、私達は。これに気が付くまでは仏になる身ではなかったと。

ここで、ちょっと秘密を話します。お釈迦様の身体は私達みたいに普通の身体だと思っているでしょう？ジャータカ物語で何度も皆さんにお話ししたように、猿の頭首になった時、その猿の軍団は六万頭。一匹も間違いなく、獲物にならないようにした時、その身体は大体、倍。小さい子牛くらいでっかいわけだ。

で、ミャンマーに行かれた方は分かると思いますけど、巨大な涅槃像。スリランカ又はタイ、残念ながらカンボジアには昔はあったのでしょうかでも、戦争でおかしくなって。巨大な、巨大に表すというのはそこまで巨大ではなく、ま、心は巨大だけど。実際に非常に大きい方なのです。

だから、ある文献では、「お釈迦様が歩けば、木が歩くようにとても高かった」と。ま、そういう方なのです。時々、そういう巨人的な身体を持った方が出て来ますけども。明

治時代ですかね、日本でも、身体が馬に乗った人の倍くらいで。その映像を見ました。今はそういう人を見た事がないから、ちょっと信じられないかもしれないけど。ま、これはちょっとした秘密です。

ですから、お釈迦様は天下無敵なわけです。弓矢が上手で。インドのラーマヤーナのクリシュナ様が一生懸命に応援したアルジュナという弓の大天才のような方で。ま、これも余談だけれど、私達は弓と言っているけれども。



私がカイルス山、エローラ、アジャンター。そのカイルス山という所があります。一つの巨大な石の山を、現在のレーザー光線で切り崩して作った様な、間違いなく造った巨大なお寺があります。現代では絶対に出来ない。そこに、右手だったかな？右手にミサイルを持っている。ショック。ドイツから来た人もしげしげと見て、私も写真撮ったけど。私達はほとんど何も分からないで、あれやこれやとやっているから。

インドの人はサドゥーと言います、中国では仙人と言います、こういう方が世界中に居て。一切世間から離れて、只何もしないと。それだけで、空中に上がるとか、超人的な事をするわけです。私達は一生、あれやこれやと言って迷うから、結局何も出来ないで一生を終わると。何もしないで岩山に住むというのは非常に辛い事なはずだけど、私が三年半ここ(ビルカバンバ)に住んだら、下界には帰りたくない。ずっとここに居りたい(笑)。とても幸せです(笑)。という風な超贅沢になるのです。ま、これは世俗の人にはお勧め出来ないけど。私自身は、いや一昔話に聞いたけど、ああいう山奥の辛い所で

寒だろう、とか思っていたけれど。あるお坊さんは「いやー、天国みたいな所だから、降りて来ないのだよ」って言うていたけど。それが良く分かるこの頃です。

『私が今印證人と成ったのは、己の身が成本佛である事を知見したからです。今、私が授記した人は來世で、果を滿し、佛に成るのも遠くない。摩訶迦葉の如く自己の法身を知見しても、六度（波羅蜜）劫數全うして妙覺法身得て、然と佛に成ります。』

六波羅蜜（布施、持戒、忍辱、精進、禪定、智慧）を身体で体得しなかったから、妙覺を得る事がなく、仏に成らなかったけれど、これを得てからは、自然と仏に成るわけなのです。

この自己の法身、虚空と一体化するわけ、虚空蔵菩薩の虚空。それこそ大日如来と同じようになるわけです。毘盧遮那仏と。皆さんが全てこれを持っているわけです。ところが、深い深い眠りに入って。特に今のこういうお釈迦様のお話を聞かなかったら、永遠に無量遠劫、本当の道を進む事が出来なくて、本当に悲しい悲しい事を繰り返して行かなければならないと思います。

『十方諸佛も法身（毘盧遮那仏）と己の身体が一つの体である事を知見したから、佛の印證をえたのです。『知見自性佛法身體。十方諸佛。一體一躬知成佛故。得佛印證。』

と漢文で。話を聞くと（難しくて）「ウワー、これはどうしよう？」と思うけれど、実はそうじゃない。時間がくれば、「犬が歩けば棒に当たる」みたいに、私みたいに。この体験をしたのはアフガニスタン。カブールに行って、あの戦場で瞑想していた時に、天からのご褒美でこれを知見したわけです。頭では無理。頭ではどうしても無理。ま、これも毛が生えたような初歩の初歩だから。

結局、私はアンデスの山奥、チベットのカイラス山、これと思った所はアフリカのオクソンという、シバの女王の宮殿も訪ねて、何処にでも行くから、犬も歩けば棒に当たるで、そういうご褒美というか、そういう事になりました。

『この様に未來諸佛世尊も同じく成佛するのです。天王も満月の如くは、世間で見える満月で無い月輪で 人が言う月の事ではない。新月の一分は、日毎の月に見える事が無い人たちは、信じられない人で、月の有る事を知っている人は、月初めであると心で見る道人です。世間の人はこれを知らず、道人は良く知る。三日月は、三分の光で未だ満月でない、と世間の月の智慧であります。見性人は 仙徳と諸人に知られます。』

仙徳、これも説明しなければいけない。仙天といって、さっき言ったサドゥー、仙人。そういう不思議な、超人的な力を持った方々を意味します。

『摩訶迦葉もこの様で在り、未だに阿耨多羅三藐三菩提に成っていませんが、未來において佛に成る事を知る人は、佛を見た人です。この様に道人は、心で満月の十五分月であると知ります。』

摩訶迦葉尊者様は仏教の祖師ですね。お釈迦様の後で教団を継いだ第一の祖師で、第二はアーナンダ様で。摩訶迦葉尊者は托鉢に行く時に、貧しい所ばかり行くわけ。その話も前にしたと思いますけど。その時に、非常に苦勞している百姓の夫婦、一生懸命やっている所へ行って、「ちょうだい」と言って恵みをもたらしたわけです。その夫婦は「はいどうぞ」と弁当を差し出してくれたわけだ。そうしたら、そのお百姓さんが鍬を入れたら、そこから金がどんどん出て来た。

一般には、最早こういう方は阿羅漢を超えて、独覚というか、縁覚というか、辟支仏：ペチカブツダ (Pacceka-Buddha、Pali語)：の位にもう上がっているわけです。もう普通の生命体を超えた超人の世界で。

私がある昔、ミャンマーに行って、今は1,060歳になっているかな。ウ・コビタ尊者はバガン王朝が滅びて、その後千年生きているから。もちろんボディ・ダルマ様も生きているし、カシャパ尊者も生きているし。

私が、サリーナの海に呼ばれた時には、ナーガラジューナ尊者がサッと映像で現れて、呼ばれて。だから、私達が住んでいる世界はテレビ、それから演劇の世界で、本当にチャチなもので(笑)。騙されないように。騙されて、あっちに行ってこっちに行って、ダンスして。良いのでしょうか、それはとても小さい事で。無駄無駄、ムダな事。

『この様に未來諸佛世尊も同じく成佛するのです』この法則は、この宇宙の根元の事を言っているわけです。ディーパンカラブツダ。大燃燈仏と日本では言われていますけど、二十五代前の方で、お釈迦様に認可（授記）を与えた。お釈迦様はスマナという名前で。「お前は仏になる」と。それから二十五仏から次から次と認可を受けたわけです。「仏になる」と。

その時空は、その長さ、どういう風に測るのか？「この大宇宙がビッグバンで出来た」と、「何も無い所から出来た」と。これが今、デタラメで嘘だという事が分かって。何故かと言ったら、ジェームスウェップテレスコープ(次世代宇宙望遠鏡)ですね、この地球と同じように周る、地球の影からずーっと宇宙を観た時に、ビッグバンセオリーではゼロから爆発して発生した、その後(宇宙が)出来たという時空で。ま、私達人間の百年とは考えられない時間帯だけれど。

ところが、爆発した直後の世界に、この銀河の10倍の綺麗な銀河系があって、で、その前を観て通り越して行ったら、現代天文学では絶対に銀河の無い時空の宇宙が爆破してワーンと、無くて、真っ暗で、しかし、そこに正式な銀河がちゃんとあるわけです。その真っ暗な中に。これで全部、アインシュタインの重力説も嘘。もう当てはまらない。実際は。今までの超物理学も全部ダメ。(せかい最高峰のウィルス学者が、WHO：今になってイベルメクチンを使用するようにしてと：はCOVID-19で全くでたらめな、間違った手法を取って世界の医療科学を間違えて解釈して、世界の人類の免疫性を低下させて 想像以上の病気津波を発生させています。と、同じ事をしているようです。)

ところが、一番合うのは、この時空は江河砂(ガンジス河の砂粒の数)劫とか無量遠劫とかお釈迦様が説明しているように、私達人間が教えられている時空と比べると、考えられない巨大な時空を言っているわけです。

で、お釈迦様が言われる「ディーパンカラブツダから私が今、この世に出て来た時は、この大宇宙が6回大破壊されてまた出て来た」と。簡単に言えば春夏秋冬と四季です。四季のように冬が来て春が来て、同じようにまた成っていくと因果関係で、このサイクル。巨大なサイクルだから、千年、万年、十万年…一億、十億…百兆億でも測れないくらいの時空の事を言っているわけです。で、また同じ事を繰り返すわけ。

それに、クジラには歯が無くて、毛のような歯で食べるという風に教えられているけれど、百万年、二百万年前にはクジラには歯があるわけです。なんと現在、ブルーホエール(シロナガスクジラ)というクジラはそう(歯が無い)になっているけど、他のクジラには歯があるわけなのです、イルカみたいに。今でも。だから、ダーウインの進化論は当てはまらない。

南米のブラジル(アフリカのコンゴにも)のジャングルの奥には、恐竜がいる。今でも。何故かと言ったら、アンコールワット。カンボジアの寺院に恐竜が刻まれている。ところが、アンコールワットは千年前に出来たと。恐竜は数千万年前に死滅しているから、有り得ない。でもちゃんと刻まれている恐竜の背中に棘がぽつぽつと生えた(Stegosaurus)と同じ。

また他にアンコールワットに刻まれたものには、ゾウさんが、牙四つ持っているわけです。これは数百万年前に消滅したはずだけれども。見られるわけがないのに、ちゃんと石に彫ってあるわけです。特にアンコールワットの顔、有名な巨大な巨人みたいな顔が、54の顔の寺院があります。よくよく考えたら、これはトルテックというメキシコの超文明を築いて消え去ったその顔と似ているなあと思ったら、やっぱり関係があるみたいです。

私達が教えられている知識は、有名な学者が書いたら、「ああ、そうだ」と、ある政治家が言えば、「ああ、そうだ」と。という風に騙されっぱなしだから。余談になったけど、騙されないように。

話を戻しますが、臨済義玄様、臨済宗の祖師が「仏を見たら、殺せ」と。「見れるものなら見てみろ。見られるわけがないのだから」と。出逢う事もないし。ただ「仏だ。仏だと拝むな」という事で。もっと修行しなさいという事を言っているのです。『**この様に道人は、心で満月の十五分月であると知ります。**』つまり、さっき言ったようにホワイトカシナに入る前、その月を観るわけです。



布施度者。大慈悲用。轉慳貪心。饒益自德。利澤眾生。戒律度者。法儀性用。轉邪惡心。堅固自己。保持眾生。堪忍度者。大誠信心用。轉瞋恚心。守護自道。安穩眾生。精進度者。道理性用。轉懈怠心。勤修自己。勸進眾。靜慮度者。大智慧用。轉放逸心。接取自己。接取眾生。智慧度者。智藝性功。轉愚痴心。明徹自己。明徹眾生。方便度者。仁者智性功。轉礙礙心。易修自道。易修自道眾生。誓願度者。仁勇性功。轉發失心。成就自道。成就眾生。任力度者。智勇性功。轉怯弱心。任住自己。任住眾生。知智度者。大覺性功。轉迷惑心。悟了自己。悟了眾生。所作智者。應化覺德。轉前五識。成佛自己。成佛眾生。妙觀智者。他受覺德。轉第六識。成佛自己。成佛眾生。平等智者。自受覺德。轉我人識。成佛自己。成佛眾生。大圓智者。自性覺德。轉含藏識。成佛自己。成佛眾生。法界智者。法身覺德。轉無明識。成佛自己。成佛眾生。覺轉無明。成法界性。是名如來法界體智。是十五道。元來性具。是名心性。是名佛性。十五圓滿。不一可決。無首無尾。如環無端。但以方便。說示始終。凡夫性者。雖有不現。猶如晦月。有輪無覺。初發心者。始見性體。猶如朔月。現一分光。作修行人。智妄供有。猶如弦月半白半黑。聖者性者。智見修滿。猶如望月圓輪滿光。即說偈曰。

『布施波羅蜜者は大慈悲で慳貪心を自分にも、沢山の人も利益を与えます。』

つまり、あまりケチケチするなと。使うときはお金をどんどん使いなさい。人にも美味しいもの食べさせてという事で。

『戒律波羅蜜者は法儀を使って、轉邪惡心を堅固に自己と衆生をします。』

自分も衆生も一緒にそっちの方に行くと。

『堪忍波羅蜜者は、大誠信心を用いて。』

つまり、間違った事を言わない。本当の言葉の通りに行動して、

『瞋恚心を抑えて、自分の道を守り周りの人も安心します。』

怒りを抑えて。いやーこれがまた出来ないですね。私もつい、カッとなってしまっ。いやー私も出来が悪いから。出来るだけ怒らない、怒らないようにしているのだけだね。この怒りがダメなのです、良い事一つも無し。結局、イグアナさんね、怒らないんだね。「キャキャキャキャー」と言って。それだけ。夜、一人で「わたし、ここにいるよー」って。「はい。マンゴー食べなさい」って落としてくれるのよ(笑)。これが私も出来なくて、時々頭に来る事いっぱいあって、爆発する時もあるのですよ。いっぱい。あーあ。これは毒。本当に毒。

『精進波羅蜜者は道理を用いて、怠け心を勤勉に自己をし、周りの人にも勧め

ます。』

ま、なんとか、30分でも5分でも良いから、やれば十分と思います。

『静慮波羅蜜者は大智慧を用いて、命を大切に自分も周りの人にもします。智慧波羅蜜者は智慧と技を巧みにし、愚かな自分と他人をも明解な心にします。方便波羅蜜者は仁徳（慈悲）と智性（智慧）が増して（一体化して）、自分と他人の礙の心を変えて修行道を安易にします。誓願波羅蜜者は慈悲と勇敢を増して、自分と他人の失心を変えて成功させます。』任力波羅蜜者は智慧と勇気を増して、自分と他人の怯える弱心を変えて確りとさせます。』

今、ウクライナ戦争を見ているんですけど、悲しい事に、ウクライナの人口はつい最近まで5200万。今、1800万いるかいらないか。恐ろしい事です。その昔、私の生徒はほとんどウクライナ人とロシア人。ウクライナ語というのは無くて、ロシア語でどっちも通じるわけです。結局、青森の津軽弁と九州の鹿児島弁、私全く分からない。あなた達も、私が津軽弁話したら分からないと思う。

ウクライナとロシアは一つの国なのです。キエフはその昔、全ロシアの首都だったわけです。だから、国境も何も無いわけです。それが化かされて、アメリカやヨーロッパが「お金出すから、戦え、戦え！」って。結局、5200万の人口が今、1800万。

子供も何もあったものじゃないし、この事は報道もされていないけど。この情報はアメリカのトランプ政権の時の参謀がちゃんとインターネットで報告しているわけです。普通の人が言っているわけではない。軍人の方から。日本も絶対にこういう事は、戦争はしないように。何があっても黙って、仲良くして。5200万が今、1800万ですよ。戦争はダメ。絶対ダメ。（戦後の世界平和を世界に推奨した、日本平和国家はウクライナとロシアに対して和平交渉の道を開く努力をしたのでしょうか？してなければ日本国民を欺いた事になります。私は2014年前に強くロシアとウクライナの生徒たちに同和を勧めましたが理解できなかったようです。今まさにオデッサが陥落して日本国家の血税が支払わされる事になります。年金もつぎ込んだようです。）

ロシア人のお父さんとウクライナ人のお母さん、同じ言葉だから、結婚している人も沢山いるわけです。喧嘩する事一つもないわけ。ちゃんと話合っ。それが、ディバイデットコントロール、他所の国を攻める方法で。何千年も人類はやっているわけです。

人が牛を育てて大金持ちになったら、泥棒が出て、泥棒が大金持ちになると。今まさに、銀行が。皆さんが一生懸命働いてお金貯めて、そしたら、ゼロ。クレディスイスがダメ。アメリカのトップ十四銀行もダメ。ドイツ銀行も明日潰れるか。という状態で。この事は皆さんにささやかながら、食料でも良いし、味噌醤油でも買い溜めた方が良いでしょう。というのはこの事で。また余談になるね。

『任力波羅蜜者は智慧と勇気を増して、自分と他人の怯える弱心を変えて確りとさせます。』

私も時々、「あーこれやったらいいのかな？どうかな？」と。ところが海の家の巨大な家を買ったのは自分の名誉の為に買ったのではないのです。こういう大きな館を買え

ば、ここに避難して来られる状況が出来るなど。それがもう巨大な家で。家はしっかりしているけど配管もどうなっているか分からない所で。自分で家を作った体験があるから、それを真似て、昔の技術者としての体験があるから、車も作る力もあるから、それを応用して皆さんが来られるようにと用意したのだけだね。そうならない事を願うけど。

来たら、またそこで、食べ物が安くて新鮮で。ここに来て心身を養って欲しいと。このビルカバンバもアンデスの空気の良い事。水も素晴らしい。ここでテントを張れば、難民として暮らせば、自由に何年でも暮らせるから。大丈夫。全然、問題なし。弱い心もあったけど、頑張って今、何とかしました。

というのは皆さんが仏道を進めているから、とても尊い事をしている。だから、絶対に卑下しないで、五分でも十分でもお釈迦様を、仏の事を思いながら、良い事をする。悪い事をしない。ただそれだけの事なのです。それで行けば間違い無し。



『知智波羅蜜者は大覺性が増して、自分と他人の迷いの心を悟りに導きます。』

大覺性、この智慧、波羅蜜。識心、識大と言って心の本源、これ。それこそどんな計器を使っても観えない。明解に大変な時にスーと出て来るわけです。ところがレンズが曇ったり、歪んだりしていたら、識大が上手く行かないわけ。それは魔のせいだね。そういう風に作っています。皆さんが進化したら困るから。

『この様な智者は、五識（色境、声境、香境、味境、触境の識心）を覺徳に化得て、自己も衆生も成仏します。』

と言うのはね、この色物形、色即是空空即是色、それから声、受想行識の声の世界と香りの世界、味・味覚、触覚・触る。これは全部心の中の自分、自分というものがあります。自分は心の中で結局、今のAIみたいに、そこに集まって来るわけ。自分で自分を作り上げているわけ。それが表に出て鏡を見て、「これは自分だ」と。ところが、心の増さず減らず、この識心ですね。汚れる事もなく清くもなく、大きくも小さくもなく、この世界で。もう絶妙な世界です。この事を言っている。受想行識、識心ですね。全部これ。この事をお釈迦様はしっかりと観ているわけなの、全て。どういう風になるか。

『妙観智者は覺徳を他の人が受ける様、第六識（眼、耳、鼻、舌、身、意の識）を自己も衆生も成佛させます。平等智者は自己が覺徳を受けて、我を人識に変えて自己も衆生も成佛させます。大圓智者は性分が覺徳なので、藏識（阿頼耶識は如來藏、第八識、楞伽經より）を含み自己も衆生も成佛させます。』

覺徳は波羅蜜、パーラミです。藏識（阿頼耶識は如來藏、第八識、楞伽經より： *alaya-vijnana* 梵語）結局、藏識で過去の自分が観えるし、未来も観えるし。大宇宙も観てしまう。という事を皆さん持っているわけです。

これは過去の因果の事で、遮断されているから。そう簡単に観えない。何故かと言ったら、修行する方法を誰も教えてくれないから。法随観をやれば、これを全部通過して行きます。時空を超えて過去も未来も観えるから。宿命通というのですか。この事です。

『法界智者は覺徳法身なので、無明識（無明、梵語： *Avidyā* , 巴利語： *avijjā* 、煩惱のこと）を転じて、自己と衆生を成佛させます。覺も無明に転じて、法界性に成ります。』

何故、目覚めて観えるのが、無明に転じて。結局、無駄な事は止めなさいって。あれこれ考えないで、只々何もしないで生きて行きなさい。これがサドゥー、岩穴にズーっと座って、何もしないで。食べ物も出て来るし。本当にそうなのです。食べ物が出て来る。それから、冬の寒いのも春のように爽やか。本当にそうなのです。普通の私達の感覚では、今こうして、「(エクアドルに来て)暑くもなく寒くもなく良いなあ」という。私はこの大地に来てやったけども。こういう聖人達はそうやるわけです。無明（梵語： *Avidyā* ）、その煩惱を変えてしまうと。

『これを如來法界體智と言います。これが十五道で元より皆さんに備わっている心性と言い、佛性の十五圓滿の満月。』

私がさっきから何回も言っている。「皆さん、持っているんだよ」って。お釈迦様がこう言われていますし、私も確認しました。変わらない。さっき言ったように、ヤモリさんは非常に優れた生命体だなと。もちろん、猫を見ても「いやー凄いいんだな」と。人間より余程、素晴らしいと。

私達が居ない間、二週間、この前は三か月も家を守って。「はやく帰っておいで」と。

サリーナの方に呼び掛けてくるわけ。私には分かるわけ、心で。この事、この心。

私達人間は携帯電話で「おい、どうしているか？」と言わなきゃダメだけど、いらないわけですよ、そんなものは。「あ、呼んでいるな」とか。「あ。大丈夫だな」と。危険がある時はちゃんと、識大というものが見せてくれるけども。どうにもならない。私がそこに居なくて、どうにもならない。

これが、皆さんが心でいつもグニャグニャと、あ、楽しいと。心性でしょう。これが実は仏性なのです。仏の、そのものなのです。で、世間に惑わされてクニャクニャ考えるから、自分の心が「今日は面白くない」と。これが**佛性の十五圓滿の満月**ですね。

『欠ける事もなく、先も後ろもなく回るように端は無い如しで、方便でこの話を終わります。』

端が無いように、クルクル周るように満月になるわけです。そういう状態になると。だから、憂いが一つも無い。悲しい世界から離れる。だからこの世で生きながら、そういう所へ行けるわけです。心で生きながら。で、あの世でも新しくまたそうなる。

今、こういう事を聞いたから、「ま、そうかな」と。こういう道があるのだなと。お釈迦様が言われる最後の大説法だからね。涅槃であの世に発つ前に、こうして教えてくれたのです。

『凡夫性の者は新月の輪を見ることなく無月とし。発菩提心者は新月の一分光と最初からその様に見ます。人は智と妄が俱有知って、修行者は半月の半白半黒の月様です。聖者性の人は智見 (Seeing Knowing : 観禅) よく修して、満月の圓輪満光を望めて下さい。説偈曰く。』

この事を中国語で、

凡夫未知見	暗如晦月輪	地前諸菩薩	菩薩様になるその前、
光如朔月等	地中大菩薩	明如弦月成	月が出て、上弦下弦のように見える。

地上覺菩薩	圓如望月滿	是此月輪者	
是久遠成佛	名無量壽命	決定王如來	必ずいつか仏に成る。これを無量寿と。

亦名法界宮	常寂光淨土	毗盧遮那佛	淨土ですね。悟りを開いた。阿弥陀の世界。毘盧遮那仏と一体だと。
-------	-------	-------	---------------------------------

常住此月輪	十方諸如來	俱住於此殿	いつも満月。これを韓国の偉い偉いお坊さん、月の下、月下という和尚さんで、舍利をいっぱい出されたわけですね。心は観音様の心で。二千年名利の通度寺の方丈様でね、私を大事にして接待してくれました。如来はこういう風な、識、識心ですね、何故かと言ったら、全ては滅んで行くけど、身体も何も。心は永遠なわけです。靈魂は永遠不滅。仏滅と、いやあれは涅槃に入る事を言っているわけで。仏が無くなるのではなく。永遠不滅のそういう状態になると。
-------	-------	-------	--

非因亦非果	三世常住者	凡夫行人者	因果が全て消えると。
應觀如是理	端坐觀月輪	我身成本來	このように觀なさいと。只、只管打坐。座ってくれって。

毗盧遮那佛	法身遍法界	頂有五佛冠	自分の身が本来、毘盧遮那仏であると。ある時期になったら、皆さんが、満天の星が、心の満点に、ちゃんとなる、同じ世界が出来るわけです。この事を言っているわけ。だから、皆さんはちゃんと持っているわけ。ただそれを「いち早く！」ではなく、自然と。このDNAは宇宙の毘盧遮那仏の根源で出来ているから。くよくよせずに、一步一步と歩いて行けば良いという事で。「あれしなきゃダメ、これしなきゃダメ、今日はこれ、これ！」と。そういう事ではない。ただし、怠けてしないのではなく、身体が疲れた時は休んで。身体が元気になったらちゃんと働いてと。
-------	-------	-------	---

ま、簡単な事だけど。頂有五佛、この五仏で、本源はこの五仏で私達は全世界で生きて生活しているわけです。その土台があって。結局、海があって、雲があって、山があって、川が流れて、そうして私達は生きているでしょう？

ところが、プルトー（冥王星）、それからウラヌス（天王星）という土星の外の世界、あれはプロパンガスのようなガス体が凍って、それが山になったり、陸になったり、それからちょっと溶けて海になったり。同じ状況。NASAの

写真で見たら、我々の世界と同じ。そこにも必ず生命体が居るはずなのです。何故かと言ったら、その昔、ロシアの宇宙船が金星に降りた時、金星は大地の温度が400～600℃。そこに降りた時の写真を見たら、サソリのような生命体が居たわけです。これをヴィパッサナーでやれば、暑いのも寒いのも心の変化でそうになってしまうわけで、シベリアへ行けばマイナス50℃。ちゃんと生きている。インドに行ったら、プラス50℃。外に出たら、足が痙攣して動かないからホテルに帰ってすぐ寝たけど。人は誰も外に出ていない。でも身体が対応してしまう。

南極の2000～3000mの氷の下には、100万年前か時間は分からないけど、そこに湖があって、ちゃんとした生命体が泳いでいる。だから、私達が言うこのDNAはまだほとんど分かっていないのだと思う。私が観たこの宇宙にはありとあらゆる場所に生命体が居ました。私達もその人達から見たら宇宙人。こっちから見たらあなた達が宇宙人。そんな感じ。ただ、ラベリングしているだけ。心は一緒。

坐千葉蓮華 身著瓔珞衣 身色紫磨金 あの蓮華。蓮の花、その蓮の花一つ一つが仏なわけです。千仏の上に座していると。それがあなた方。一中一切一切一中。この事。その現世として観る時は、観音様のお姿で現れます。

仏というのは、あなたはもちろん普通の人間だけど、ところが不思議な光を出すわけです。金色の光を出して周りが紫色になります。光がバァーっと。ブッダガヤのお釈迦様は頭がブルーで。金色になっていると例えるけど。不思議な光を出すわけです。アーナンダ尊者様が、最初お釈迦様の話を遠くから聞いた時に、お釈迦様が不思議な光を出したと。この事なのです。

百福本具足 萬善莊嚴身 一念間知見 ちょっと見たら全てを見ると。時空も何もあったものじゃない。一瞬に心が観てしまうわけです。

心性形月輪 一念間憶念 我身毗盧理 さっき言ったホワイトカシナの事。無量遠劫即一念、一念即無量遠劫。永遠が一瞬で一瞬が永遠と。

是人名真實 修念佛行者 為得大功德 己の身は毘盧舎那佛の理事と知る人は、真實の念仏修行者で大きな功と徳を得ます。

東方阿閼佛 南方寶生佛 西方阿彌陀

北方不空成 如是等無量 恒河沙諸佛

稱常念名號 恭敬禮供養 經於百千歲 東西南北これには非常に深い理由があります。ピラミッドも東西南北、あの巨大な物を1センチも間違わないで造っているわけ。またインドにある、非常に古い千年前のお寺、東西南北一つも狂わない。それからアンコールワットも非常に精巧に出来ていて、GPSで視てもピッタリと合っているわけです。

それに、そのインドの素晴らしいお寺は、何て言ったかな、トロピカルキャンサーだ。トロピカルキャンサーというのは地球の緯度、23度26分12秒の地球の緯度に当たるわけでピターっと合います。そこでは、太陽が6月21日(夏至)、その日に寺院に行ったら影が出来ない。太陽が真上に来るから。影が出来ない。これが狂わない。

ギリシャ正教またはユダヤ教の後で出来たお寺を訪ねて分かった事は、この土日月火水木金、この七つが天体の動きと関係があると。説明します。何故そう言っているのか。それがまた身体と一体化しているわけで、この動きが。この地球が生まれたのもそ

れと関係があるわけなのです。だからこういう話を今、話していますけども、奥が深くてちょっとクラクラ来ると思います。でも実際そうなのです。という事をお釈迦様が2600年前に話されている。現代の最高の科学と過去のあれがピタッと合っていくわけですよ。で、トロピカルキャンサーのあるインドで、現代科学測定での2008年、1997年度はクルクル狂っているけど、インドのその寺院は狂わないでピタッと合わせるわけです。この地球のフラフラも入れて。私達は時代が進めば最高だと思っているけど、どうもこれはおかしくなっていると思いますよ。

是諸功德者 知見之功德 能作比量者

是諸功德者 不及於見性 須臾之功德 ま、こういう風に今言った事を心に留めて、この東西南北がただあるのではなく、この無量の江河砂数の仏と一体化してこういう風に動いていると。そういう事をいつも心で感じて生きてくださいと。それは素晴らしい高德であって。

百分亦千分 百千萬億分 不及於一分 この百分の一、千分の一、百千万億分の一でも、この状況の身体にも及ばないと。

何況常住體 自性之本佛 應用中於法

世間與出世 一面而度世 自度亦化他 自分もそうなるし、他人もそういう風にすると。本来、自分は仏であると。非常にこれは深いんだけど、これは本当の事です。漢文で書いて難しいけど。

天王出家菩薩者。

『天王は出家者の菩薩です。』

爾時世尊。說是偈已。告大眾言。已前多說空法眾義。是為能破數多煩惱。成清淨心。已成清淨。同佛空心。是名成佛。是斯初位。今說心月。十五妙道。入最上道。是未成佛時。能至佛位。是斯終位。十五修行。是名諸位因佛。修行十五成就。是名諸佛果成佛道。一切眾生。身行相應是十五道。口意亦爾。一切行行。無惡但善。一切時時。無迷但覺。如是行人。一生即得成聖人身。人天恭敬。龍鬼供養。十方遊行。無有障礙。無有怨敵。一切安樂。一切無為。

『そして世尊は偈を説いて、大衆に話しました。私は前に沢山の正しい空法を説明しました。是は数多くの煩惱を破り、心が清淨に成り、已も清淨に成ります。これが佛の空心で成佛と言います。』

空心。大宇宙の大スペースと一緒にという事、心は。空(そら)の空ではなく。空気の空じゃない。

『最初は、今の心月の話で、十五妙道から入る最上の道です。未だに佛でない時に、佛位に至る佛の道の最終点です。この最終位が十五修行で、総ての佛が修行十五道を成就して、総ての佛の果の成佛道です。一切の衆生は身行も是の十五道の様にし、口意も同じくする様に【身口意】。全ての行動には無惡で、ただ善。何時も迷わずに、ただ覺。是が行人で、この人生で聖人身に成り。人も天も敬い、龍も鬼も供養していただきます。何処に旅しても、禍が無く怨敵も在りません。全てが安樂平穩です。』



爾時大梵天王白佛言世尊。我見法界諸佛無量。眾生無量。萬善無量。萬惡無量。以何法為成是等本。佛告大梵王言。善哉善哉。天王問之。有七法界。成就是等。一者三法身法界。二者五緣因法界。三者四氣法界。四者七大法界。五者三世間法界。六者四順逆法界。七者十界法界。是法界集會。成就一切世間。天王諦聽。云何三法身法界。一者等流。二者智行。三者成佛。云何五因緣。一者法性。二者無明。三者逢著。四者執行。五者後會。云何四氣法界。一者空氣。二者陽氣。三者陰氣。四者生氣。云何七大法界。一者地大。二者水大。三者火大。四者風大。五者空大。六者識大。七者根大。云何三世間法界。一者器界。二者眾生。三者五蘊。云何四順逆法界。一者五德。二者十善。三者四諦。四者六度。云何十界法界。一者地獄。二者非情。三者鬼界。四者畜生。五者人間。六者仙天。七者二乘。八者空界。九者菩薩。十者佛界。云何等流法身法界。普賢菩薩法身法界。其法界理。出生眾生。無始無終。非迷非覺。是名等流法身法界。云何智行法身法界。觀音菩薩智慧法界。其法界理。命具眾生。無始無終。迷變覺成。是名智行法身法界。云何成佛法身法界。毗盧遮那大薄伽梵大覺法界。其法界理。自然具足一切眾生無始無終轉迷開覺。是名成佛法身法界。云何法性因緣法界。普賢法性等流之因。自爾緣於觀音法性智行之緣。觀音法性智行之因。法然緣於毗盧遮那法性之果。是為眾生因緣根之。是妙法性因緣法界。云何無明因緣法界。一切眾生一心之元。是法性理。於其法性妙真理中。依眾生緣。忽然出生一念忘心。是為眾生流轉之元。是名無明因緣法界。云何逢著因緣法界。一切眾生。同法性生。法入同故。自然相逢而作逢著。結生死緣。生生世世。如是結緣。是性為眾生流轉生死。是名逢著法界。云何執行因緣法界。一切眾生相逢著故。於著法中。或生慈愛。或生瞋恨。或作善業。或作惡業。是名為眾生死業因。是名執行因緣法界。云何後會因緣法界。一切眾生。此生結緣。依此緣故。必得後生。亦會造業。是為眾生死死永劫。是名後會因緣法界。

『そして大梵天王は世尊へ、私は全宇宙に沢山の無量の佛を見ました。無量の萬善衆生と萬惡衆生も見ました。』

大梵天王というのは、ブラフマン大王の事です。顔がいっぱいあるでしょう。顔が四つのブラフマン大王(タイ、バンコックの四面仏)。何時も仏を尊敬して、仏を護っている方です。

『どうしてこの様な法が有り、その元は何でしょうか？ 大梵王よ、とても良い質問です。天王の問はこの七法界の成立ちのこと。一 三法身法界 二 五緣因法界 三 四氣法界 四 七大法界 五 三世間法界 六 四順逆法界 七 十界法界の集會法界のことで、全ての世界での事。天王よ、確りと聞いて下さい。』

頭がクラクラすると思いますけど、順を追って、ゆっくりやれば頭に入りますから。

『三法身法界とは、一に等流、二に智行、三に成佛。』

一に等流とは最高の一法の事、二に智行はつまり、智慧を使う行動、三に成仏、これが三法身法界。

『五因縁とは、一に法性、二に無明、三に逢著、四に執行（生死）、五に後會。』

逢著というのは「これが欲しい、あれが欲しい」ということ。執行は生死。後會というのは嫌な人でも、また会うという因縁の事です。

『四氣法界は、一に空氣、二に陽氣、三に陰氣、四に生氣。』

四氣法界は空氣＝風、二に陽氣＝暖かい寒い、三に陰氣＝陰気くさい死にそうな、四に生氣＝元気がいっぱいということですね。

『七大法界とは、一に地大、二に水大、三に火大、四に風大、五に空大、六に識大、七に根大』

説明します。一に地大というのは、この地面が出来る、その法則の元。ヴィパッサナーではフォーエレメントといって、地、水、火、風、これをヴィパッサナーで物質がどうなっているかを観ます。五に空大、空というのはこの大宇宙のスペースの事であって、この空（そら）の事ではないです。六に識大というのは、心の事、心の動きとこの識。靈魂。七に根大、全ての元。全ての物はどうなっているか？という事。

『三世間法界とは、一に器界【機器類、AIだけの世界】 二に衆生【あらゆる生命体】 三に五蘊の生命体。』

三世間法界とは、一に器界。器界とはどういう事？車とかいろんな器物の事、又は今AIが問題になっていますね。実際に今AIでほとんど動かしています。銀行関係から人の管理、それから戦争もAI戦争で、ジェット機に乗って「ここを爆撃する」と言ったら、ミサイルがそこに飛んでいきます。パイロットが操作するのではなく、命令したら自分自身でそこに行って、爆破する。「どこそこへ飛んで」と飛行機に命令したら、自分自身でサーッと飛んで行ってくれる。人間は只、乗って。状況がどうかを観たり、ストップさせる。

二に衆生、あらゆる生命体。

三に五蘊、【Theravadaの法随観禅実践より、北伝大乘教義上の五蘊の説明は、巴: pañca-kkhandha (パンチャッカンド)、梵: पञ्च स्कन्ध, pañca-skandha (パンチャ・スカンダ) と、色蘊・受蘊・想蘊・行蘊・識蘊。物質界と精神界との両面にわたる一切の有為法を示すとのウィキペディアの説明】は、大きく間違っ、これは何を言っているか分からない。

色即是空空即是色と受想行識は心の動きの事で。物質界と精神界の両面に一切の有為法を示すというのは違う。こうではない。物質界の地水火風、これが色の事です。フォーム。色。物質界の。色と受想行識は完全に分かれています。ウィキペディアでは

物質界と精神界の両面に渡ると言っているけど。説明がもの凄くおかしい。

五蘊の生命体。では器界はどうなるのか？このAIは生命体なのか？機械はどうなのか？実際にね、ソフィアというAIのロボットに「あなたは人類をどうしますか？」と聞いたら、「破壊します。消滅させます。」と。というのは、AIをプログラムした人は、結局、「価値のある行動をしない人は必要なし」と。ではその価値はどこで決めるのか？実際は、非も善も無い。人間があれば良い、これは悪いと決めている。人間が思っている世界と仙人の住む世界は全く違うわけです。人間の法では理解出来ない事を堂々とやっているから。ここで非常に混同してしまうわけです。

結局、今、西洋の倫理には東洋の徳という事が良く解ら無いから。波羅蜜道が無いから。さっき説明したようにウクライナ戦争で、「これだ」という理論でやってしまうから。五千二百万人の人口が千八百万人に減って。死んだ兵士が二十五万―三十五万人。これはペンタゴンの報告であって、ロシアからの報告ではない。で、負傷者は八十万～百万人か。そうしたら、もう誰も戦う人がいない。アメリカ兵とイギリス兵がウクライナの軍服来て戦っているけど、もう完全に崩壊し始めて。何故そこまでやって戦争をするのか？理論でそうかもしれないけど、自分の国を滅ぼしてまで何故戦うのか？負けたくないから？領土？

元々、クリミア半島は、フルンチョフ首相とブレジネフ書記長がドンバス出身のウクライナ人なわけ。「ここ(クリミア)をウクライナにやる」と。そうしたら、ビクトリア・ヌーランド(現アメリカ国務次官)がウクライナ人で。カナダのフリーランド(現カナダ財務大臣、トルドーの側近)もウクライナ人で。実は。あなた方日本人のように何世代も同じ国ではない。突然、アメリカ、カナダに来て戦争を吹っ掛けてこうやるわけです。だから、理論で動けばこんな事になってしまう。

ところが、徳でやれば。台湾と中国は戦争しません。出来ない。しない。徳があるから。どっちも徳が基本だから、絶対にしない。どんなに仕掛けても。ま、表面上は踊っているけど。ま、そういう事。

『四順逆法界とは、一に五徳【一者孝父。二者孝母。三者忠君師。四者助聖者。五者歸三寶。】二に十善、三に四諦【苦集滅道】、四者六度【六波羅蜜】』

四順逆法界とは、一に五徳【一者孝父、父を大切に。二者孝母、母を大切に。三者忠君と先生、四者聖者を助けると。五者帰依三宝です。三宝はブッダ、ダンマ、サンガのこと。】

二に十善、十善というのは不殺生・不偷盗(ちゅうとう)・不邪淫・不妄語・不綺語(きご)・不悪口(あつく)・不両舌・不貪欲・不瞋恚(しんい)・不邪見の十善行の事。

三に四諦、老人、生まれて苦勞する人、死ぬ人、それから、お釈迦様の話では結局、城を出て生老病死をしっかり見定めたことで出家しました。(近現代の仏教研究によれば、四諦：苦集滅道は最古層經典には見られず。釈尊の説かれたAnicha無常，Dukhha苦，Anata無我，Asuba惡世の四真理よりの誤訳ではないのか？)

四者六度は六波羅蜜。

『十界法界とは、一に地獄、二に非情、三に鬼界、四に畜生、五に人間、六に仙天、七に二乗、八に空界、九に菩薩、十に佛界。』

十界法界とは、一に地獄、二に非情、感情のない。「あなたはいつでもいい」と。三に鬼界、四に畜生、五に人間、六に仙天、仙天はさっき説明しましたね。私達がサドゥー、サドゥーと言う。人間界を離れて山に入って。私達が「幅1m、長さ10mの板の上を歩け」と言われたら、問題なく歩けるけれど。ビルとビルの間にそういうものを敷いて「歩け」と言われたら、人間は「怖い。出来ない」となる。仙天はそういう所でも問題なく歩ける人。一切何もしないけれど、楽器を渡したら自由自在に奏でる。人の心も読める。

ある人が、今でも現在、インドに居ます。サドゥー。「修行をしたい」と。10才でやるのが正式だけど、20歳になった弟子には取らないと。そういう事になっています。で、何をするのか？と言ったら、一切何もしないと。やる事全て間違いだから、世間の事はするな。考えるなと。その場所に行くには非常に危険で、山奥で入れない。何が一番怖いのか？虎でもなく、ライオンでも熊でもない。一番恐ろしいのはインドバイソン。アメリカバイソンのように、牛ではない。そういうインドバイソンの赤ちゃんを見ただけで、母牛はすぐに殺しに来る。自分の赤ちゃんを盗られると思って。木に登っても、降りるまでじっと待って殺す。人間の心も読めるって。ある日、そのインドバイソンの傍で座っていて、「お前、バイソンのことを考えるな」と。びっくりしてしまっ



というのは、カンボジアの国会議員長の娘さんが言っていたけど、「カンボジアの秘密は昔、人間の言葉を話す牛が居て、カンボジアは全てこの牛のおかげで助かった。」と。つい最近の話。昔ではない。その牛はタイに連れて行かれたと。どういう事なのか？その牛は生まれた時から人間の言葉で話すというのは、本当に口を動かすのではなく、頭の中へちゃんと会話をして来るわけです。そういう事例がいっぱいあるのでしょうね。インドには。牛は聖なる生き物だから、何もしてはいけないというのは、そういう事から来ているのかもしれないし。

では、普通の人間が其処へ行って「修行がしたい」と。とてもじゃないが、教えないし、カメラで撮ることも絶対させないし。そこのサドゥーはカメラを手に持ったら、ボン！と殴ると。怒る。そういう風に聖人で、暴力は何もしないというわけじゃない。悪い人はボンボン叩く。そういう超人なわけです。仙天、サドゥー。タミール語ではシンドゥー。シンドバッドのシンドゥー。中国では仙人といって修行している人を見ました。山奥で、高い、聖なる場所で。何故それをするのか？と言ったら、成功したら「天から不思議な本をもらおう」と。こういう伝説があつて。中国ではその本を手に入れたら天下を取れると。その本を狙って、その先生から本を受け取るために、ありとあらゆる事をしたという話もあります。ま、そういう事で、これを仙天と言います。

七に二乗、これは大乘と小乗の二乗。八に空界、虚空と説明したりもします。大スペース、大宇宙の事。九に菩薩、十に佛界。

『等流法身法界とは、普賢菩薩法身法界で其の法界では衆生の生命体が無始無終、非迷非覺の世界で等流法身法界と言います。』

普賢菩薩が一步足を踏めば、百億の普賢菩薩が同時に動くと。今、有名なマルチバース、パラレルユニバース。百億あると。そういう事を華嚴經に書いてあります。ただ話として聞いてね。何故かと言ったら、あまり深く考えると頭がクラクラして来るから。

それに今やっと、パラレルユニバースがあるという事を科学者が言い始めているぐらいだから。学校では全く、キチガイ状態だけど。そのキチガイ状態がようやくそっちの方向へ向かい始めているという事で。

だから、これだけ、お釈迦様は進化しているわけです。私達はほとんど無駄な事をしているという事を今、お話ししているわけです。

「生命体が無始無終」、終わる事がないと。

『智行法身法界とは觀音菩薩智慧法界で、衆生の命は無始無終で迷を覺に変えます。これを智行法身法界と言います。』

「ま。間違っても良い。早く阿弥陀の国に来なさい。」と。「そこで仏にしあげます。」というのが觀音様で。阿弥陀様が終わった次の阿弥陀の千仏を継ぐ方が觀音様で。その後は誰か？と言ったら、勢至菩薩です。と言うのは、阿弥陀様が仏に成る時に二人の王子様が居て、長男が觀音様になって、ある時

に女性の身体になったわけです。で、その弟が勢至菩薩で、この方も女性の姿になりました。という風に絶妙な世界なのです。大菩薩様です。びっくりするような話だけど、そうなのです。

『成佛法身法界とは、毗盧遮那（大日）大薄伽梵大覺法界で、自然に全てを兼ね備えて、無始無終で迷を開覺に轉換します。これを成佛法身法界と言います。法性因縁法界とは、普賢法性等流の因での縁によって觀音法性智行の縁に成り、觀音法性智行の因が出来て、この法然縁に依って毗盧遮那法性の果が出来ます。これの衆生の因縁根の是妙を法性因縁法界と言います。無明因縁法界とは全ての衆生の心の元で、是の法性に依り法性妙真理で衆生の縁で忽然と出生した時に心が念忘して、輪廻転生の元で、無明因縁法界と言います。』

全て、前の。私が生まれた時、前の人生はどうだったのか？何処から来たのか？どうなっているのか？小さいながら「私の命は突然生まれたんじゃない」と。前に何処かで生まれているはずだと。それが夢みたい現象で観て「こうかな。ああかな。」と。

ところが法随観での修行をやった時に、次から次へと観ていくわけです。阿頼耶識、第八識、心の世界で、観て行けるわけです。皆さん、持っています。

これを忘れるから、無明因縁法界になって。「金を儲ける為なら何しても良い」とか。良い事を忘れて。それで、非常に悲しい状況を作っていくわけです。

『逢著因縁法界とは、性愛の法則に依って重ね重ね会い生と死の絆ができて、人生の後の人生も結ばれる結縁が出来ます。この様に、衆生は性愛に依り生死の輪廻転生を繰り返します。これが逢著法界です。』

だから、皆さんがこうして結ばれるのは、前の因縁に依ってなのであって。どんな綺麗な天才的な男性であっても女性であっても、あの人が良いからと言って出来るわけじゃない。全ては因縁に依ってです。すぐに「はい。」と機械みたいにはならない。

『執行因縁法界とは、全ての衆生は逢著に依って会い、この法則に依って慈愛と瞋恨発生し、又善業と惡業を作ります。』

「あ～あなた、あれしたね。これしたね～」とか「あ～あなた良い！」とか言って。これでまたおかしくなるわけです。だからお釈迦様は修行する人に「離れなさい」と。ところがそうは行かないわけです。何故かと言ったら、どうしても過去からの因縁があって結婚するより仕方が無い。だからこれをなんとか良い方向へ持って行くわけしか無いわけです。それしかない。私だって若い時に会ってそのまんま(笑)。ほんとにもう、ずっとそのまま。それしかない。ま、それによって随分と勉強させられました。

「又善業と惡業を作ります」これに依って、頭が狂ってしまうから。「いいよ」とか言って。ここがあるから、なかなかこれがね、修行道場に入って行っただけど、お坊さんの悩む所なのですよ。ここが。そう、身体があるから、そう簡単に行かない。ほとんどミャンマーでも途中で止めてしまう。機械ではないから。この機械ではないから進化出来る。AIじゃないから。間違いを犯しても良い方向へ変えられるとい

う。根源は毘盧遮那仏と一体化しているからです。心をずーっと観ながら、只々良い事だけをしていくと。そうしたら間違いない。

『この様に、衆生の生死の因業が出来ます。これが執行因縁法界です。』

で、これがずーっと繰り返すわけで。どんどん。どんどん。何をしても切れない。

『後會因縁法界とは、すべての衆生は、この様に、縁が結ばれて この縁により必ず転生して会う事に成り、輪廻転生を限りなく続けます。これが後會因縁法界です。』

「今別れたら、二度と会えない！」そうじゃない。必ず又会う事になっている。だから、心配なくていい(笑)。私も三年半家を出て、こうして暮らして。普通は「はい。帰って来るな」と。「もう、いい」と。そうは行かないわけだ。「はい、帰っておいで」と。必ず会う事になって(笑)。山に入って一人で暮らしたいけど、ダメなわけだ。「帰っておいで」となる。「出て行け！」とは言われない。捕まるわけですよ。どこまでも。だから、お釈迦様は「修行は一人でしなさい」と。その通り。でも、遅いから仕方ない。

ここで、ちょっと説明しなければならないのは、全ての人に教えると、出家も在家も関係なく。最高の法、これが一乗。この一乗会の一乗です。

三乗は、①声聞、②縁覚(pratyeka-buddha:梵語)。舍利子と舍利弗。何故、弗(ほつ)になったのか？佛(ぶつ)になったから。でも本当の正仏には成っていない。でも、般若心経で言うように、お釈迦様がこの方にサーっと言っても解るわけです。で、③菩薩。これが三乗。

縁覚というのは十二因縁をしっかりと分かっているわけで。どうして生まれてこうなって、このサイクルを知っている方。これがペティカブッダ(Pratyeka-buddha又はPeccica-Buddha、Pali 語)。又は辟支仏(びやくしぶつ)と。だから、ペティカブッダに成っただけでも大変な事で。

過去世でペティカブッダにたった一回悪い事をした修行僧がご飯を食べられない。口に持って行くとすぐに消えてしまう。それでも、阿羅漢になったので、物を食べずに死んでしまったら大悪魔になるから、カシャパ尊者が食べ物を手にとって口に入れて食べさせて、満腹にさせて、涅槃に入って行ったという事で。その話はしたと思います。



云何空氣成世法界。無始無終大空之中。無始無終有一妙氣。是如來藏。含諸妙理。能為成就世間之元。是名空氣成世法界。云何陽氣成世法界。空氣變作主生動法。一水北方。三木東方。五土中央。七火南方。九金西方。如是數行。成就世間。是名陽氣成世法界。云何陰氣成世法界。陽氣變化主死寂法。二火南方。四金西方。六水北方。八木東方。十土中央。如是數行。成就世間。是名陰氣成世法界。云何生氣。父氣一月。父母氣成眾生身分。父氣一月。成生腎。母氣於時。成生膀命。母氣二月。能成心絡。父氣於時能成小臚。父氣三月能成肝口。母氣於時。能成膽腦。母氣四月能成肝口。父氣於時能成胃三。父氣五月成就肺口。母氣於時。成就大膜。父氣六月成骨耳。母氣七月盛血父舌。父氣八月成眼母筋。母氣九月成肉唇。父氣十月成皮母鼻。雖成同時。熟有不同。是名生氣成世法界。云何地大堅質法界。眾生支大。骨肉質體。皆是地大。是名身分地大法界。云何水大濕質法界。眾生支體。血液溫體。皆是水大。是名身分水大法界。云何火大溫氣法界。眾生支體。君相溫氣皆是火大。是名身分火大法界。云何風大動搖法界。眾生支體。隨念動搖。皆是風大。是名身分風大法界。云何空大法界。一切眾生臟腑之間。氣血通經。皆是空大。是名身分空大法界。云何識大魂魄法界。眾生心身。眼耳鼻舌身意中有為其處主。知了靈識皆是識大。是名身心識大法界。云何根大明徹法界。眾生身心眼耳鼻舌身意根處皆根大。是名身心根大法界。云何器界世間法界。一切眾生。所住之所。天地境界。是名器界世間法界。云何眾生世間法界。有情非情。迷覺眾類。是名眾生世間法界。『云何五蘊世間法界。一切眾生。身者是色。心者是受想行識也。是名五蘊世間法界』。云何五德順逆法界。其順五者。一者孝父。二者孝母。三者忠君師。四者助聖者。五者歸三寶。其五逆者。一者殺父。二者殺母。三者弑君師。四者殺聖者。五者破三寶。是名五德順逆法界。云何十善順逆法界。其順十者。『一者放生。二者正施。三者節貞。四者誠語。五者正語。六者譽語。七者睦語。八者義捨。九者和慈。十者明慧』。其逆十者。『一者殺生。二者偷盜。三者邪淫。四者妄語。五者綺語。六者惡口。七者兩舌。八者貪欲。九者瞋恚。十者愚痴』。是名十善順逆法界。

『空氣成世法界とは、無始無終の大宇宙の空間で、無始無終の絶妙な心の空間の如來藏（虚空蔵菩薩）で、諸妙理でなっているので、世界を成す元です。これが空氣成世法界です。』

空氣とは私が吸っているこの空氣ではない。大宇宙の事。星とか地球がクルクル周り、太陽があるこの大宇宙の事。これ自体が実は仏体なのです。仏。仏の本体。強烈。

一番良い例が、アフガニスタンに巨大な仏があったのです。タリバンによって破壊されたけど。如実にそれを示している事であって。結局、朝はお釈迦様、ゴータマ・ブッダ。それから昔あった西の巨大な二体。阿弥陀様となっている。実は大宇宙の身体であるという事を示している。私達の心は大宇宙の心と一体化している。一中一切一切一中。だから凄いものを私達は持っている。

こういう話は、他の宗教では神に頼るから。「神、神、神」と。それでおしまい。バチーンと切れて、その先無し。それで、全世界が平和になるのか？と。ならないわけです。アメリカは世界最大のキリスト様国家なわけです。キリスト国家。キリストは人

類愛で世界を助けると。ところが、もう戦争に次ぐ戦争をやっているわけです。全て神に依って許されて助かると。そうではない。全く暗黒の世界にしか私には見えない。

日本は何だかんだと言っているけど、アメリカとか他の国に比べたら本当に平和で自由な国なのです。新聞で色々言うけれど、関係なくやったら誰も邪魔しないし。特にこういう風に私のような者でも聞いてくれる方々が居るという事で。他の国ではいろんな制約があって、そう簡単じゃないのです。それだけの事があるから奈良の大仏があるのでしょうか。きっと。

『陽氣成世法界とは、空氣變動作用の法則で一水北方。三木東方。五土中央。七火南方。九金西方の數行【陰陽術の八卦五行の數行ではありません。是は東西南北佛と中央佛で成る數行です。】で成る世界、是が陽氣成世法界です。』

ここが大事な所です。金西方とはどういう事なのか？水星、木星、土星、火星、金星という惑星の動きが、遠くに行ったり近くに来たりという事を表しているわけです。だからインドではアストロロジーが非常に正確に出ているというのはこの事です。特に太陽の動きと月の動き、この七つの天体が私達生命体に非常に関係してくるわけです。この事を言い表しているわけです。だから月火水木金土日となっている。この五つの五行。行というのは動き、この星の動き。惑星の動きの事です。

『陰氣成世法界とは、陽氣が衰え消滅する法則で、二火南方。四金西方。六水北方。八木東方。十土中央。で成る數行世界、是が陰氣成世法界です。生氣とは、父母の氣で成衆生の身分が成る法則で、父氣は一の月で腎臓を作り、母氣はこの時に寿命を作ります。母氣は二の月で心臓が作られ、父氣はこの時に肌を作ります。父氣は三の月で内蔵を作り、母氣はこの時に胆のうを作ります。母氣は四の月で肝臓を作り、父氣はこの時に胃を作ります。父氣は五の月で肺を作り、母氣はこの時に内臓を包む大きな膜を作ります。』

二火南方は火星、四金星西方、六水星水北方、八木星東方、十土星中央で成る數行世界、これが陰氣成世法界。生氣とは、父母の氣で成衆生の身分が成る法則です。これは三十二分身瞑想法でやれば、この身体の事が非常に良く分かります。

胃があるでしょ。それから肺、内臓。膜が全部あるわけです。膜でずーっと覆われている。とても大切な機能。この膜が破れたら大変。この事です。これを三十二分身でやればちゃんと観えます。瞑想で。超科学なのです。実は。

これが天体の惑星の動きと関係してくると。この天体は宇宙の、大気の宇宙で、この中で私達は生きているから、全宇宙と赤ちゃんがこの世に出て来る時の関係がこうなっていますとはっきり言っている。凄い事です。

これによって「あなたは何時まで生きる。何時死ぬ」と星占いで言うでしょう？実に正確に分かるわけ。これを応用してシンガポールを作った印光大師様がこれをちゃんと計算してやっているわけです。星の動きから経済から、どういう風に災難が福に転じるかという事までやってしまう。

『父氣の六の月で骨と耳を作ります。母氣の七の月で血液と父の舌を作ります。父氣の八の月で眼と母の筋を作ります。母氣の九の月で肉と唇を作ります。父氣の十の月で皮と母の鼻を作ります。だいたいこの様に成るけれども熟生は同じで無い。是を生氣成世法界と言います。』

という法則で私達は生まれて来るみたいです。

『地大堅質法界は、衆生を支え、骨肉質体は皆な地大である。』

というのは、私達はこの肌や肉体を、その土ですね、物質の瞑想でこれを確認します。

『是を身分地大法界と言います。水大濕質法界とは、衆生の体を支える、身体格部と血液で身体を温める事で、是が水大、身分水大法界と言います。火大溫氣法界とは、衆生の身体を暖かくする事で、是が火大です。是を身分火大法界と言います。風大動搖法界とは、衆生の身体が思いのままに動くのは風大（風の根本）に依るものである。総てがこの作用です。是が身分風大法界です。空大法界とは、全ての衆生の臟腑の間と氣血が通る作用で、是が空大（空の根本）です。是が身分空大法界です。識大魂魄法界とは、衆生の心身の眼耳鼻舌身意の心中に有る主が知了する、靈識です。是が識大（識の根本）です。是が身心識大法界です。根大明徹法界とは、衆生の身心眼耳鼻舌身意の根處は皆な根大で、是が身心根大法界です。器界世間法界とは、全ての衆生が住む所で、天界と地の異次元空間界で、是が器界世間法界です。』

家あるでしょう？机あるでしょう？こういう空間。自然には無い。自然だったら山の中で草木、石、そういう事で生きているけど、あなたが住んでいる周りは全て人間が作った機器の空間で生きて、これは自然の世界じゃないのです。ところが、シンドウ、サドゥー、仙人になればこういう物は一切いらない。時計もいらない。時計を持っていたら放り出されると。一切機器はいれないという世界だから。私達が異次元の世界に住んでいるのであって。

昔は電気も無く、水道も無く、ほとんど自然の中で生きていた。私の小さい頃なんかはそうですよ。井戸を掘って水を出して。冬は穴倉掘ってそこに野菜を入れて。夜になれば、石油のランプに灯を入れて、家を明るくして、夜の間に消すと。それはそれで、そうして過ごしたけど、電気が入ったら、「うわーこんなに明るい世界だ！」とびっくりするわけです。

なんて良いのだろうと思った。ところが、今、どうもそうは思えないのだけれど。色々な制約がいっぱい出来て。

『衆生世間法界とは、有情非情の迷覺衆類で、是が衆生世間法界です。五蘊世間法界とは、全ての衆生の身体が色（Rupa）で、心（Nama）が受想行識の完了三十四善点心（クサラ）、又は不完全な悪点心（アクサラ）の行式です。是が五蘊世間法界です。』

心の作用ですね。良い事をする、悪い事をする。これが五蘊世間法界。

『五徳順逆法界とは、順の五者は（一者孝父。二者孝母。三者忠君師。四者助聖者。五者歸三寶。）と、其の五の逆者は（一者殺父。二者殺母。三者弑君師。四者殺聖者。五者破三寶。）で、是が五徳順逆法界です。』

順の五者については前に話しました。だから、寺を壊すとか、聖者を殺すとか、絶対にダメだという事。

『十善順逆法界とは、其の順十者が『一者放生。二者正施。三者節貞。四者誠語。五者正語。六者譽語。七者睦語。八者義捨。九者和慈。十者明慧』と。』

一者放生とは、よくミャンマーでお寺の前で、小鳥がいっぱい居て、お金を出したら、空に飛ばして逃がしてやるわけです。他のお寺でも、五台山でも生き物がいっぱい居て、それを放してあげるとか。そのことです。二者正施とは、施しをやると。私も買った魚を海に放してやれば良かったけど、ちょっと失敗して食べました。悪いことしました。

三者節貞。四者誠語。嘘を付かない。五者正語。正しい言葉を話す。六者譽語。誉め言葉。七者睦語。優しく話す。八者義捨。義理に依らない。九者和慈。仲良く、睦まじく。十者明慧。良く正しく物を観る智慧。

『其の逆十者が『一者殺生。二者偷盜。三者邪淫。四者妄語。五者綺語。六者惡口。七者兩舌。八者貪欲。九者瞋恚。十者愚痴』で、是が十善順逆法界。』

その逆十者が一者殺生。二者偷盜。三者邪淫。キャバレーで遊びまくったり、ワ〜っと。そういう事ね。四者妄語。五者綺語。六者惡口。七者兩舌。不兩舌の兩舌。八者貪欲。九者瞋恚。十者愚痴』で、是が十善順逆法界。考えると、私達はこういう世界で生きているわけですね。

云何地獄受苦法界。此大地下。金輪際中。有惡鬼集。在其世界。生諸眾生者。為大鬼。所割食噉食。亦生亦然。金輪際下。有水氷輪。水輪際下。有火炎輪。其水輪際。其火輪際中。諸眾生為氷所凍。為火所燒。晝夜無間受大毒苦。是名地獄受苦法界。云何非情愚毒法法界。愚痴無智。塞心塞念。諸眾類。或為土石。或為。生草木。是名非情極愚法界。云何諸鬼餓鬼貪鬼疫鬼毒鬼夜叉羅刹毗遮俱槃多等眾類。是名鬼界苦毒法界。云何畜生龍等諸鱗。金翅鳥等一切諸羽。龜螺等甲。獅子虎狼等之諸毛。猩猩等之一切裸虫。是名畜生非正法界。云何人間正善法界。刹利。婆羅。毗舍。須陀。五戒力及十善力。生得善界。是名人間正善法界。云何天上善樂法界。大十善力。及八禪力。生欲界天及色界天。是名天上善樂法界。云何七大。一地土色身大。二水汁血精大。三火氣靈溫大。四風木動息大。五空金虛氣大。是五大分迷覺二道。二道各分依正二報。迷道依報。成天地世界。迷道正報。成人天有情。覺道依報。十方淨土覺道正報。成諸佛菩薩。六六識大。風木大靈成眼識。水汁大靈成耳識。空金大靈成鼻識。地土大靈成身識。火大一身之主。故分二識。從靈成舌識。主靈成意識。七六根大。風木大氣成眼根。水大氣成耳根。空金大氣成鼻根。地土大氣成身根。火大一身主也。故分二根。從氣成舌根。主氣成意根。云何如來藏地土識根大。無量壽命決定王佛法身等流。成水識根大。不空成就佛法身等流。成火識根大。寶生佛法身等流。成風木識根大。無動佛法身等流。成空金識根大。無量壽佛法身等流。成無始無終無造無為。是名如來藏。

『地獄受苦法界とは、この大地の下に金輪が有り、際(金輪と水輪の間)が最下部でその中に悪鬼が集って居る世界に、沢山の衆生が生きています。大鬼たちはこの衆生を割いて食べますが、その同じ衆生達は又直ぐにそこで生まれて、又食べられます。(西洋では太古の昔に巨人が人を、その同じ様に食べる話があります。)金輪際下の下には、水氷輪があり、その際の下に、火炎輪があります【地球の構造は球体が外殻岩石60－80Kmのマグマ上に在り、マグマの下に高圧水が数千Kmが有り、約三百万三十万圧力に水も高熱氷(金属質)に成り、その下に鉄外殻の核反応金属球体の超高熱度の火球体が有ります。】その水輪際と火輪際の衆生は氷で凍り、また火で焼かれる苦しみを昼も夜も無間に大毒の苦を受けます。是が地獄受苦法界です。』

さっき、私が金星の事を話したでしょう？南極の氷の下に生命体が居ると。この地球は、大地の核が在って、その下にマグマが在って。その間に、高圧になった水が在るわけです。水。強烈な水だから、地球の核は猛烈に熱い、自然の核発電のようにもの凄いエネルギーになっているわけです。強烈な圧力だから、水が石以上の固まりになって。そこを金輪際と言って。「金輪際会わない」とか、最悪の地獄。そういう所でも生命体が居ると。

ダンテ・アギリエーリの神曲の中には最悪の地獄は、「氷の中で固められる」と。この事。

何故氷と？氷は、水が固まるように、空気も石みたいに固まるわけ。高圧力で。日本の列島の側にはドライアイスみたいに、天然ガスが固まって氷のようになっているわけです。海水圧力で。又はどんなに熱が高くて固まってしまふ。圧力のおかげで。

『非情愚毒法法界とは、愚痴や無智、心や思いの閉ざされた、あらゆる種類、或いは土石や生草木の世界で、是が非情極愚法界です。鬼餓・鬼貪・鬼疫・鬼毒・鬼夜叉・

羅刹(巴利語: Rakkhasa鬼神)・毗遮(食屍、食血肉鬼)・俱槃多(巴利名Kumbhanda 幽霊王、人食鬼)などのあらゆる類で、是が鬼界苦毒法界です。』

『畜生龍等諸鱗とは、金翅鳥(ガルータ鳥)などの一切の羽の類、亀やカタツムリ等の 鎧の類甲、獅子虎狼等の獣の類、毛の無い生き物や一切の裸虫などの類で、是が畜 生非正法界です。』

『人間正善法界とは、刹利(刹帝利 Kshatriya)、婆羅(婆羅門 Brahman)、毗舍(庶 民)、須陀(奴隸階級)の五戒及十善戒(十善道行・仏説海龍王經)を実行して善界に 生まれた人間。是が人間正善法界。』

『天上善樂法界とは、大十善及び八禪を実行して、欲界天及色界天に生まれる。是が 天上善樂法界。』

欲というのは六天まで有るように、この私達の上に、人間が木の神になったり、山の 神になったりする。それが六段階に段々と上がって行って、兜率天、それから他化自 在天の最高の、欲界の天界があるわけです。

それから、色界とはブラフマンの世界で、全く違う物質で出来ています。どう言えば いいのか？ブラフマン、この仏法を護る天界。

その上に無色界があります。それはガスみたいな生命体。心はちゃんとあるわけ で、全然私達と変わらない。状況が変わってしまう。これが天上善樂法界。苦の無い世 界ね。

『七大とは、一に地土色身大、二に水汁血精大、三に火氣靈溫大、四に風木動息大、 五に空金虛氣大、是の五大は迷覺二道に分かれて迷正の二報になる。迷道の正報 で天地世界に成る。迷道の正報で人天有情ができます。覺道の正の二報で、十方淨 土正報と諸佛菩薩正報と成る。六に六識大。風木・大靈成眼識、水汁・大靈成耳識、 空金・大靈成鼻識、地土・大靈成身識、火・大一身識と主心識で分れて二識に成りま す。從靈成舌識。主靈成意識。七に六根大となり、風木大・氣成眼根、水大・氣成耳 根、空金大・氣成鼻根、地土大・氣成身根、火大・一身と主心が分れて二根と成り從氣 成舌根と主氣成意根。如來藏地土識根大とは、無量壽命決定王佛法身等に依る成 水識根大、不空成就佛法身に依って成る火識根大、寶生佛法身に依って成る風木識 根大、無動佛法身に依って成る空金識根大、無量壽佛法身に依って成る無始無終無 造無為です。是が如來藏。』

まあまあまあ、頭がクラクラするような、この宇宙と空間と、この身体と靈魂の繋がり。こ こまで行かなくても結構。五戒と十善をやって、兜率天の弥勒様に会ってそこで修行し て、阿弥陀の国に行っても良いし。ま、そういう事で。一応、説明したけど。説明は聞き 流しても結構。これが如来蔵。どうでしょう？という感じ(笑)。



如何七大成佛。佛言娑婆世界中。有千百億天地。其中有無量世界。其中有無數眾生。有智畜生。行五戒道。死而生於人間界。不受自行。而成庶人。受持修行而成大人。有智人間行十善道。死後必生成人間王。受自行成小國王。受持。不修行。成大國王。是名菩薩初行道者。十信菩薩成鐵輪王。十住菩薩成銅輪王。十行菩薩成銀輪王。十向菩薩成金輪王。初地菩薩成四天王。二地菩薩成忉利王。三地菩薩成夜摩王。四地菩薩成兜率王。五地菩薩成化樂王。六地菩薩。成自在王。七地菩薩成初禪王。八地菩薩成二禪王。九地菩薩成三禪王。十地菩薩成四禪王。等覺菩薩住於內院。入中修盡無明。下生人間。而成正覺於內。院。是以最初修行故。

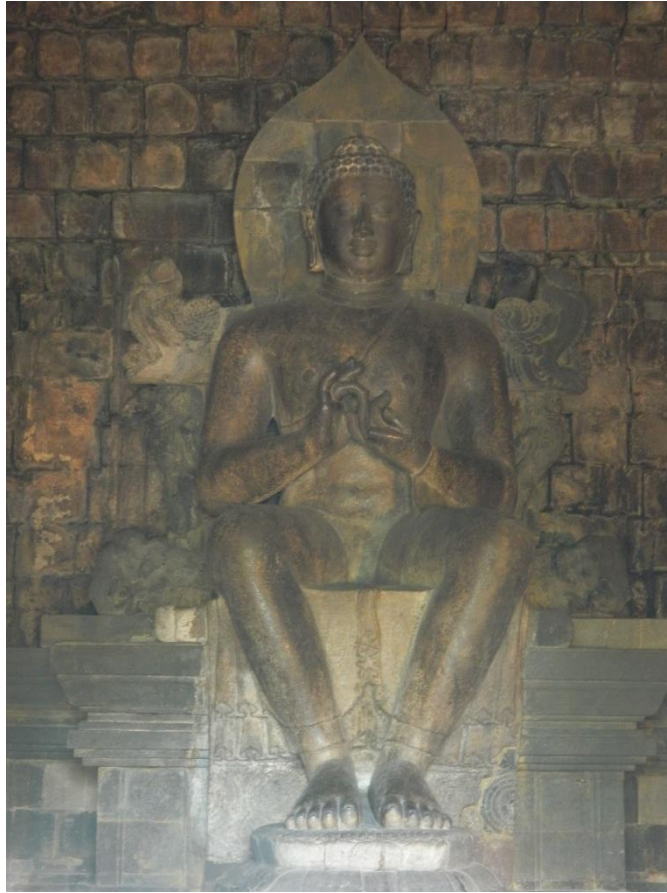
『七大成佛とは、釈尊の説明で娑婆世界(三千大世界:大宇宙)には千百億(十一兆:現在の天文では約100兆の銀河眼有るので、約十に一つの太陽系に衆生が生息して居る事に成る。)の天地があり、其には無量の世界があります。其には無數の衆生がいて、智へ有る畜生は五戒の道行がある、死のある人間界に生まれ、自分で行をしない人は庶民に成り、修行する人は大人に成ります。智のある人間は十善道をして、死後に必ず人間にうまれて王に成り、行を成して小國王を受け持ち、不修行で大國王に成る。是が菩薩初行道者で、十信菩薩を成し鐵輪王に、十住菩薩を成し銅輪王に、十行菩薩を成し銀輪王に、十向菩薩を成し金輪王とそれぞれに成ります。』

段々と位が上がって、精神が高まって行きます。

『初地は菩薩が四天王に成り、二地は菩薩忉利王に成り、三地は菩薩夜摩王に成り、四地は菩薩兜率王に成り、五地は菩薩化樂王に成り、六地は菩薩自在王に成り、七地は菩薩初禪王に成り、八地は菩薩二禪王に成り、九地は菩薩三禪王に成り、十地は菩薩四禪王に成る。この様な覺菩薩は於内院にて、入中において無明を正す為に、人間に生まれて正覺を院内で成して、これを以って最初の修行。』

これは何を意味しているのか？と言ったら、兜率天に上がって、四禪を使って、その中で他化自在天のように人間界で修業させるわけ。結局、自分のアバターを作るということで。この四禪の秘密。兜率天に上がって内院でこの事を実行すると。

ま。今日はこれくらいにして。



水源禪師法話集122

(2023年3月26日 web法話2回目)

2023年6月12日発行
編集兼発行 一乗禪の会